

# 平成25年度社会福祉法人三愛荘事業報告書

## ○法人実施事業一覧

第一種社会福祉事業 障害者支援施設 かおる園

障害者支援施設 清 泉 園

障害者支援施設 さくら園

第二種社会福祉事業 心身障害児（者）短期入所事業

上記3施設で実施（ただし、かおる園は児童対象外）

グループホーム・ケアホーム一体型 第1若草寮

第1ホーム・第2ホーム・あかねホーム・ゆうすげホーム

特定相談支援事業所 よりどころ

障害児相談支援事業所 よりどころ

## ○理事会・評議員会・法人内監査

### 1. 理事・監事・評議員

#### a. 理事、監事の任期

平成24年7月1日より平成26年6月30日

#### b. 評議員の任期

任期は平成26年2月1日より平成28年1月31日

### 2. 役員会の開催

開催日	内 容
平成25年5月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成24年度社会福祉法人三愛荘事業報告（案）審議の件</li><li>平成24年度一般会計決算承認の件 監事監査報告</li><li>消防設備整備事業審議の件</li><li>平成25年度一般会計補正予算（案）審議の件</li></ul>
平成25年9月11日	<ul style="list-style-type: none"><li>かおる園日中活動棟（仮称）建設について</li><li>平成25年度一般会計補正予算（案）審議の件</li><li>建設にかかる入札の業者選定について</li></ul>
平成25年11月6日	<ul style="list-style-type: none"><li>かおる園日中活動棟（仮称）入札結果について</li></ul>

平成 26 年 1 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化等臨時特例基金事業（かおる園耐震化整備事業）計画並びに事務進捗状況について</li> <li>平成 25 年度一般会計補正予算（案）審議の件</li> <li>任期満了に伴う評議員選任の件</li> <li>耐震化等臨時特例基金事業（かおる園耐震化整備事業）に係る入札の業者選定の件</li> </ul>
平成 26 年 2 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人三愛荘かおる園いずみ寮・信和寮 平成 25 年度耐震化整備事業入札結果について</li> </ul>
平成 26 年 3 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度一般会計補正予算（案）審議の件</li> <li>平成 26 年度社会福祉法人三愛荘事業計画（案）審議の件</li> <li>平成 26 年度一般会計予算（案）審議の件</li> <li>運営規程（第 1 若草寮）変更の件</li> <li>就業規則変更の件</li> </ul>

### 3. 評議員会の開催

開催日	内容
平成 25 年 5 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 24 年度社会福祉法人三愛荘事業報告（案）審議の件</li> <li>平成 24 年度一般会計決算承認の件 監事監査報告</li> <li>消防設備整備事業審議の件</li> <li>平成 25 年度一般会計補正予算（案）審議の件</li> </ul>
平成 25 年 9 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>かおる園日中活動棟（仮称）建設について</li> <li>平成 25 年度一般会計補正予算（案）審議の件</li> </ul>
平成 26 年 1 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化等臨時特例基金事業（かおる園耐震化整備事業）計画並びに事務進捗状況について</li> <li>平成 25 年度一般会計補正予算（案）審議の件</li> </ul>
平成 26 年 3 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度一般会計補正予算（案）審議の件</li> <li>平成 26 年度社会福祉法人三愛荘事業計画（案）審議の件</li> <li>平成 26 年度一般会計予算（案）審議の件</li> <li>運営規程（第 1 若草寮）変更の件</li> <li>就業規則変更の件</li> </ul>

#### 4. 法人内監査の実施

平成 25 年 5 月 22 日、三愛荘事務所会議室において平成 24 年度法人・施設運営状況及び会計執行状況を岸監事、田中監事により監査

#### ○運営概要

##### 1. 全般概要

平成 25 年度は、総合支援法施行の年であった。制度の中では、障害の範囲の見直しなどが行われたが、具体的な障害支援区分、グループホームの一元化などは、平成 26 年度に実施となるので、その準備にもあててきた。

障害者虐待防止法については、三愛荘内でも虐待防止委員会を組織し、全国社会福祉協議会のチェックリストの活用などにより、この 1 年、職員間で障害者虐待についての意識向上に努めた。

サービス等利用計画については、相談支援事業所「よりどころ」を開設し、主として三愛荘利用者のサービス等利用計画作成にあたってきた。1 年を経過し、相談支援専門員の作成スキルも向上してきた。渋川広域圏において活動する、他の相談支援事業所とも連携をとり、圏域でサービス等利用計画が期限内に作成できるよう協力すると共に、その作成手法についても事業所間での相違ができないよう「なんでも相談室」を中心に合同の研修会などを開催し、作成にあたってきた。

発達障害の勉強会については、発達障害の外部研修に参加したメンバーを中心に、事業所内でもそのノウハウを伝えるべく時間をとり、担当寮の職員に具体的な手法を伝えることを行なってきた。また、はるな郷において行なわれてきた強度行動障害勉強会にも参加させていただいた。

設備等の改修では、事業計画の通り、かおる園日中活動棟の建設を実施した。これは、かおる園いずみ寮・信和寮建設にともない、旧日中活動棟を解体の必要がでたため、先行実施したものである。建築費用については、すべて自己資金にて実施した。消費税増税や東京オリンピックの実施決定などの影響か、資材高騰、人手不足などにより入札も困難な状況となったが、なんとか 11 月に落札、平成 26 年 6 月完成予定である。

また、本体のかおる園いずみ寮・信和寮の耐震化補助も決定し、2 月に入札を実施し、施行業者も決定した。

平成 25 年度で特筆すべきは、2 月 14 日から 15 日の豪雪であろう。前橋市で 73 センチとなり、三愛荘においても職員が出勤できなかつたり、食材の納入が停止したり、5 時間ほど停電という状況にもなった。職員や関係者の協力により利用者、職員にも怪我もなくのりきることができた。

## 2. 危機管理委員会の開催

平成 25 年度も毎月危機管理委員会を開催した。事故報告、ヒヤリハット報告の分析を中心に行なった。

例年の通り感染症への対応も引き続きおこなった。平成 25 年度も、インフルエンザの流行がみられたが、インフルエンザが事業所内に広がったときの具体的対応も作成し、職員が不安を少なくして対応できたのではないかと思う。

避難訓練等に関しては、防火管理者を中心に毎月行なった。人命をいかにすばやく救出するかという観点から繰り返し行なうことができた。震災対策として非常食の備蓄を3日分から5日分へ増やして対応している。

また前述したように 25 年度は、雪害という新たなリスクを意識した年度でもあった。危機管理委員会で実施してきた冬季前に行なう設備の事前チェックは、有効に働いたものと考えている。例えば、除雪具の点検補充、塩化カルシウムの備蓄、滑り止めの砂の確保などである。豪雪後、除雪具の不足も伝えられたが、三愛荘においては、人力による除雪具は、不足することはなかった。豪雪対応の最中、緊急の危機管理委員会も開催し、現状での問題点の確認などを行いながらこの状況を乗り切ってきた。

決定されたことをいかに支援の現場に伝えていくかということが、委員会の問題点、今後の課題としてあげられる。このことについては、繰り返し委員会参加職員より丁寧な報告を各現場で行なうよう努めることとした。

## 3. 施設、設備整備への対応

平成 25 年度は、かおる園の本体改築に準備、対応してきた。いずみ寮・信和寮は、昭和 38 年当時の建物であり、震災時の懸念が感じられていた。三愛荘において順次建替えを進めてきたが耐震化という視点から対応が急がれる建物であった。

幸いにも平成 25 年度耐震化補助の決定があり、建築の準備を進めてきた。実際には、本体の工事は、平成 26 年度となるが、一部平成 25 年 3 月より工事が始まった。

この本体工事の関係で、かおる園日中活動棟の先行建設の必要があり、平成 25 年 11 月に入札実施の手続きができるよう準備をすすめた。新しい日中活動棟の建築場所は、旧三養寮跡地とした。

この建築にあわせ、渋川広域消防からご指導をいただいている非常通報体制の1ブロックから3ブロック化への整備ということについても同時進行で取り組むこととなった。理事会・評議員会でもかおる園の建築と同時進行での対応を承認いただき、平成 25 年度からその対応にあたっている。3ブロックの増設については、これまでの平和寮のみの通報から、あけぼの寮、聖母男子寮に通報システムを増設する工事を進める。

#### 4. 職員研修

平成 25 年度も新任職員に対して、採用時研修を実施した。内容としては、各施設長から法人、施設の説明、制度、支援内容の解説を行った。また、事務部門、支援部門、栄養部門からも個別支援計画及び就業規則等の説明を行った。その上で O J T ノートの作成を一年間義務付け、主任を中心に O J T を行った。

法人の全体研修として、9 月と 1 月に O F F - J T を行った。9 月については、サービス等利用計画の内容や相談支援事業所の現状ということで「よりどころ」の相談支援専門員の荒田専門員より説明を行なった。1 月については、成年後見制度の内容について把握できていない経験年数の浅い職員も増加してきていることから、改めてリーガルサポート常任理事の清水敏晶先生より講義を受けた。

この他 25 年度も県福祉マンパワーセンターの階層別研修（初任者研修、中堅職員研修、指導的職員研修等）を法人の研修内容として位置づけ、経験年数等を考慮して参加した。参加職員の報告から、その立場を意識した研修として業務に対するモチベーションアップにつながっているものと感じている。

県知的障害者福祉協会の部会に本年も積極的に職員を派遣した。新しく着任した職員は、他施設を見学するような機会もないため、その意味からも福祉協会の部会は、大変参考になるものと推察される。また、福祉協会では、定着委員会など時代のニーズに答えた新設の部会もできており、社会貢献といった側面からも積極的に新設部会にも関わっている。

#### 5. 苦情解決会議

平成 25 年度も 8 月を除いて毎月実施することができた。本年度も原則として毎月第 3 木曜日の午後 1 時 40 分より三愛荘地域交流ホームにて行ってきた。

参加者は、各事業所の受付担当者、解決責任者、第 3 者委員となっている。

第 3 者委員は、平成 25 年度も元渋川市ボランティア連絡協議会会長 初谷三衣子様、渋川市手をつなぐ育成会監事 山中脩様、司法書士でリーガルサポート常任理事 清水敏晶様にご指導をいただいた。

解決責任者は、グループホームが内海施設長、相談支援事業所は土屋施設長、各施設は、それぞれの施設長、受付担当者は、かおる園が吉原直美支援員、清泉園小湊明美支援員、さくら園栴澤友代サービス管理責任者、グループホームが入澤桂子世話人、相談支援事業所よりどころが荒田剛志相談支援専門員であった。

平成 25 年度は、相談支援事業所の開設により受付担当者が増えたことが特徴であった。相談支援事業所は、新たな視点を事業所内に提供してくれるものとして期待されている。

## 苦情解決年間件数

### 申出人内訳

申し出人内訳	本人	保護者	その他
人数	0	2	3

### 内容別分類

内容	設備	友人	職員対応	就労	その他
人数	0	0	2	0	3

平成25年4月～平成26年3月

## 6.防災について

三愛荘においては、防災計画に基づき、日頃から避難訓練等を実施している。

危機管理委員会に防火管理者から避難訓練等の計画書が提示され、実施している。訓練の反省についても危機管理委員会と連動させ、フィードバックしていくこととしている。

非常食の備蓄状況については、栄養士が管理を行い、定期的な調理方法の体験をおこなうこともできた。前述したとおり、平成25年度で大きな災害といえば2月の豪雪が上げられる。午前4時頃から、約4時間停電となり、暖房機能もダウンした。また、職員も出勤できる状況になく、混乱状態となったが、防災担当主任を中心に困難な状況を乗り越えることができた。

非常電源、除雪機材の準備等課題も残った。

7.年間行事一覧

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1 21	辞令交付式 はる祭り	10	20	保護者会 各寮 秋の旅行
5	1~6 13~15 19 25 28	春外泊希望期間 健康診断 採血他 運動会 創立記念日 ハイキング	11	11~13 14 18	健康診断 インフルエンザ予防接種 三愛荘バザー
6	17 26	保護者会総会 歯科検診	12	23 29~1/5	クリスマス会 冬外泊希望期間
7	8 21	七夕の集い 保護者会	1	8~10	第44回ゆうあいフェスティバル
8	3~4 30	明保野地区祭り参加 夏帰省希望期間 夏祭り	2	16 21~22	保護者会新年会 (豪雪で中止) あすなろ祭 (豪雪で中止)
9	10 10~14 22 24	第41回福祉パレード 第26回ナイスハートフェア 保護者会自由面会 胸部レントゲン検査	3	3 16	ひな祭り会 保護者会全体会

8. 三愛荘の規模と設備

(1.) 土地の面積 47,852.57 m<sup>2</sup>

(2.) 建物の総面積 6624.47 m<sup>2</sup>

(3.) 規模と設備 (平成26年3月31日現在)

NO	建物の名称	構造	面積	利用定員	備考
1	第1・2寮 (三養寮・平和寮)	鉄骨造ステンレス 鋼板葺平家	1163	41	(男性) (女性)
2	指導室	ブロック造平家	41.80		
4	第3寮(友愛寮)	鉄骨平家建	354.63	23	(女性)
5	第4寮(いずみ寮)	ブロック造平家	184.90	14	(男性)
6	第5寮(信和寮)	ブロック造平家	126.91	7	
7	職業訓練棟	ブロック造2階	230.04		1F 162.0 2F 68.04
8	浴棟	ブロック造平家	77.76		
9	第6寮(ベテスダ寮)	鉄骨造ステンレス 鋼板葺平家	699.50	20	(女性)
10	第7寮(あけぼの寮)	ブロック造平家	654.36	21	(男性)
11	診療所	ブロック造平家	79.38		
12	第8寮(聖母寮)	鉄筋コン造平家	642.22	40	(男・女)
13	給食棟	鉄骨平家建	624.00		
14	事務管理棟	鉄筋コン造平家	418.69		
15	職員寮	鉄筋コン造平家	239.60		
16	洗濯棟	鉄筋造平家	65.73		
17	治療療育棟	鉄筋造平家	242.59	11	
18	地域交流ホーム	鉄骨ステンレス葺2階	462.24		
19	グループホーム	木造平家建	317.12	24	
計			6624.47		



○事業及び分野別状況

1. 施設における市町村別利用者状況一覧

(平成26年3月31日現在)

	市町村	かおる園	清泉園	さくら園		市町村	かおる園	清泉園	さくら園
市	前橋市	8	11	10	甘 楽 郡	下仁田町	1	1	
	高崎市	12	10	5		南牧村			
	桐生市		3	2		甘楽町			
	伊勢崎	2	4	2		計	1	1	
	太田市		5	1	吾 妻 郡	中之条町		2	2
	沼田市	1	1	4		東吾妻町	4	2	
	館林市	1		1		長野原町	1		1
	渋川市	13	12	5		草津町			
	藤岡市	3				嬭恋村		2	
	富岡市	1	2	1		六合村			
	安中市	4	2	1		高山村	2	1	
	みどり	1	1			計	7	7	3
	計	46	51	32	利 根 郡	片品村	1		1
	佐 波 郡	玉村町	1	1		1	川場村		
						みなかみ町	1	1	
計		1	1	1		昭和村		1	
北 群 馬 郡	吉岡町		2	1	計	2	2	1	
	榛東村	1	2		邑 楽 郡	千代田町	1		
	計	2	4	1		邑楽町			
多 野 郡	神流町				計	1			
	上野村								
	計	1			県外	3	9	2	
					合計	62	75	40	

## 2 かおる園

### (1) 事業概要

かおる園は、施設入所支援を 60 名、生活介護を 63 名の定員とした。施設入所支援においては、三養寮 20 名、平和寮 20 名、いずみ・信和寮を 1 寮として 20 名定員とし、改築に備える事にした。三養寮は日中活動として作業活動を行っているが、寮内に残る利用者も増えてきており、作業以外の創作活動を取り入れるようになった。平和寮は創作活動、ドライブ等を取り入れてきた。いずみ・信和寮は入浴や作業活動はそれぞれの動きをしているが、全体で外出することも取り入れ利用者の要望に応えることできた。

全体として、三養寮、平和寮の食事支援については、摂食・嚥下障害のある方が増え、時間をかけた安全な食事提供を重視するようになってきている。

生活介護のみ利用の方は、信和寮に 2 名、平和寮に 1 名で日中活動は他の利用者と同様、作業活動や寮の日中活動に参加している。

### (2) 利用者状況 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

#### 利用者の判定表 (障害程度区分) 【施設入所支援】

障害程度区分	かおる園 60名		計
	男性	女性	
区分 6	9	3	12
区分 5	13	9	22
区分 4	9	13	22
区分 3	3	1	4
計	34	26	60

#### 利用者の判定表 (障害程度区分) 【生活介護】

障害程度区分	かおる園 63名		計
	男性	女性	
区分 6	9	3	12
区分 5	13	9	22
区分 4	10	14	24
区分 3	3	2	5
計	35	28	63

#### 利用者年齢構成

	男性	女性
最高年齢	82	79
最低年齢	28	28
平均年齢	61.0	50.9
全体平均年齢	55.9	

#### かおる園 平成 25 年度年間目標

1. 障害者虐待防止法についての内容精査と対応について確認を行う
2. 利用者主体の個別支援実践に努める
3. サービスの質の向上に努める
4. 短期利用者、日中一時支援の受け入れの充実を図る
5. 施設整備

#### 【平成 25 年度事業報告】

1. 障害者虐待防止法についての内容精査と対応について確認を行う  
職員間で利用者への取り組みを確認するため、毎朝の引継ぎ後虐待防止の為の改善項目を唱和することにした。
2. 利用者主体の個別支援実践に努める  
寮会議、ケース会議等を通じて、利用者一人ひとりの要望を把握し、サービス管理責任者を中心に本人が望む生活が実現できるよう支援した。
3. サービスの質の向上に努める  
職員は研修への参加を積極的におこなうことができた。危機管理委員会での検討をふまえて、職員一人ひとりが利用者の安全、安心を確保するようにサービスの質の向上に結びつける試みを行った。
4. 短期利用者、日中一時支援の受け入れの充実を図る  
短期利用者、日中一時支援利用者はいずみ寮、信和寮を中心に受け入れをした。短期利用者については、繰り返し同じ寮を利用することとなった。
5. 施設整備  
以前より検討をしていた、いずみ・信和寮の耐震化整備事業の工事については 22 名定員の建物を計画し、3 月より工事の着工を行うことになった。

(3) 職員構成

職種	常勤換算	常勤	非常勤	指定基準
施設長	1	1		1
サービス管理責任者	2	2		2
看護師	1	1		14.4
生活支援員	25.4	24	0.75	
栄養士	1	1		1
調理員	1	1		
嘱託医			1	1

(4) 短期入所事業利用状況

関係機関	男性	女性	短期入所日数	日中一時日数	障害程度区分
澁川市		1	67		3
澁川市	1		5		3
澁川市	1		5		2
澁川市		1	2		3
澁川市		1	2		5
高山村	1		3	8時間以上 11	6
吉岡町		1	8		4
吉岡町	1		13		3
榛東村		1	11	4～8時間以上 16 8時間以上 17	4
伊勢崎市	1		166		3
高崎市		1	31		4
高崎市	1			4～8時間以上 8 8時間以上 2	6
計	6	6	313	54	

### 3. 清泉園

#### (1) 事業概要

清泉園は施設入所支援定員 73 名であるが、4 寮に分かれている。また、生活介護定員は 75 名である。したがって在宅から 2 名の生活介護利用者が通所している。

ベテスダ寮は、女性寮で 20 名の定員となっている。比較的動きの多い方々のご利用が多い寮である。また、ベテスダ寮は、個室を有しているのも、そのような趣旨の方のご利用もある。

友愛寮は、定員 23 名の女性寮である。23 名については、比較的高齢者が多いというのが特徴である。平成 25 年度も、認知症など疾病をかかえる利用者への対応にも追われた。

療育棟は定員 11 名、現在は、女性の方が利用されている。清泉園の中でも、障害の程度が比較的重い方にご利用をいただいている。

あけぼの寮は、清泉園で唯一の男性寮で定員が 21 名となっている。生活の流れも寮それぞれに違い、独自の動きをしている。前述のように清泉園では、在宅から生活介護の利用者を受け入れ、地域のニーズに答えたいと考えている。

#### (2) 利用者支援状況

利用者の障害程度区分表（平成 26 年 3 月 31 日現在）【施設入所支援】

障害程度区分	男性	女性	合計
6	16	27	43
5	4	17	21
4	0	6	6
3	0	3	3
計	20	53	73

利用者の障害程度区分表（平成 26 年 3 月 31 日現在）【生活介護】

障害程度区分	男性	女性	合計
6	17	27	44
5	4	18	22
4	0	6	6
3	0	3	3
計	21	54	75

## 利用者年齢構成（平成26年3月31日現在）

## 生活介護

	男性	女性	男性	女性
最高年齢	79	88	18	33
最低年齢	30	20		
平均年齢	55	58.6		
全体平均年齢	57.3		25.5	

日中については、管理棟2階（旧リハビリ室）にて「いきいき班」を開設し、各寮より希望者が通う形で日中活動の場の提供を行った。健康体操や書道、絵画、作業などをプログラムに取り入れて実施した。この一年でさらに定着できてきたと感じている。

また食事の支援、排泄、健康管理、通院など日常の基本的な支援にも重きを置きながら過ごしている。

前述のように、県内の施設の中でも高齢化が進んでいると思われるので、嚥下障害の方への配慮も引き続き重要となってくるものと思われる。また、ご家族にもご協力をいただき、本人の生活が活気あるものとなるようプログラムを組んでいる。

法人全体で行われている利用者自治会や生活寮でのご意見やご希望などを参考に、個人の意思の反映などを行っている。具体的には、外出のご希望が多いので、各寮で少人数での外出を計画して実施にうつした。

在宅からの生活介護利用の方については、在籍者2名、女性で友愛寮と治療療育棟を利用しながら日中を過ごしている。

## 清泉園の平成25年度単年度目標として

1. 日中活動の一層の充実と定着化
2. 行動障害理解
3. 個別支援計画の定着とサービス等利用計画との連動
4. サービスの質の向上
  - ・職員面
  - ・組織面
  - ・健康面
5. 設備、備品の改善
  - ・治療療育棟の生活環境の改善
  - ・友愛寮の屋根改修
  - ・地域交流ホームの塗装及び改修
  - ・職員寮の外部塗装

1については、25年度も「いきいき班」の活動を中心に実施してきた。作業意欲のあるかたも数名おりその方々の希望に沿う形で「ところてん作業」などを期間限定であったが

導入した。

施設外の歩行班は、25年度も計画的に実施できた。残念なことは、2月の豪雪ですなろ祭が中止となったため、いきいき班で年間を通して作品作りに取り組んだものが展示できなかったことである。そのかわりとして3月の保護者会全体会の会場に展示して作品を見ていただいた。また、ハイキング、ひな祭り会など清泉園独自の行事を25年度も実施できた。

2の行動障害理解については、サービス管理責任者を中心に計画をたて、定期的に清泉園職員を含んだ法人職員対象に初歩的な研修会を実施することができた。現在では、法人全体でこの問題に取り組むことができるように話し合いをもち、25年度は、外部研修を2箇所において定期的に受講できた。

3個別支援計画とサービス等利用計画の連動ということについては、相談支援事業所よりどころとの連携をとり、利用者本人のニーズに基づいた個別支援計画の作成が出来るよう取り組んだ。

4サービスの質の向上では、引き続き研修への参加を積極的に行うことができた。また、危機管理委員会での検討を通し、対応が困難なことについて、職場全体で対応できる手順を考え、実施しながら利用者の方に対応することを25年度も継続できた。

組織面では、平成24年10月より動きだした障害者虐待防止法に対応すべく、虐待防止委員会を設置して活動した。

この委員会は、法人全体で行い、年間計画をたて、その計画に基づいてアンケート等を実施しながら、職場における人権意識の定着を図ってきた。

健康面では、日常の体調管理を徹底しながら日常生活を送る流れができてきた。嘱託医師の塚越先生や、榛名病院、北毛病院などの協力医療機関の協力も得ながら対応してきた。

5の設備面では、食堂調理室の床面塗装工事を行なった。また、支援の現場より希望のあった、ベテスダ寮のパーテーション工事も行なえた。

(3) 職員構成

職 種	常勤換算	常 勤	非常勤	指定基準
施設長	1	1		1
サービス管理責任者	2	2		2
看護師	1	1		38.5
生活支援員	38	38	3	
栄養士	1	1		1
調理員	3	3		
嘱託医			1	1

(4) 短期入所事業利用状況

関係機関	男性	女性	短期入所日数	日中一時日数	区分
渋川市		1	51	2	5
渋川市		1	21		3
渋川市		1	2		5
渋川市		1	2	134	6
渋川市		1		117	児3
渋川市		1		10	2
渋川市		1		11	4
渋川市		1		119	児3
高崎市	1		2		6
高山村	1		235	52	6
計	2	8	337	326	

3 さくら園

(1) 事業概要

さくら園は、定員40名（聖母男子寮20名、聖母女子寮20名）。高齢化、虚弱化が全体的に進んでいる。内部疾患で長期入院を要する方は少なく、摂食嚥下指導やバイタルチェックの徹底など日々の健康管理の支援実績が見られている。



短期利用や日中一時支援等へのサービス特に発達障害に関する受入れも積極的に受け入れるよう努力してきた。

設備の面で施設全体の手狭さを解消するために、男女ともに物置の新設・DVDプレイヤーを聖母男子寮で新規購入し、日中支援サービスに役立てることができた。また車椅子対応の体重計の購入により、低栄養対策の資料作りをスムーズにすることができた。

当初予定していた福祉車両購入は、25年度末に、ILBS（国際福祉協会）への補助金申請が認められたため、26年度の事業に繰越した。

#### 利用者支援状況

利用者の障害程度区分表（平均区分 5.75）H26.3.31 現在

障害程度区分	男性	女性	計
6	18	12	30
5	2	8	10
4	0	0	0
計	20	20	40

#### 利用者年齢構成

H25.3.31 現在

	男性	女性
最高年齢	80.4	85.1
最低年齢	19.2	32.4
平均年齢	50.7	62.2
全体平均年齢	56.4	

#### さくら園 平成25年度 年間目標

1. 安心・安全の生活提供
  - (1) サービスの充実
  - (2) 医療面での充実
2. 個別支援計画に基づく実践の重視
3. 利用者サービスの向上

1. (1) については、スマイル班は男女合同で施設外での活動の機会を増やすことができた。

DVDや紙芝居を使用したことにより、より多くの利用者が日中活動に参加することが出来た。

(2) については、血圧・SPO2（血中の酸素濃度）測定を毎日定期に実施し早期発見に努めてきた。また室内環境、特に加湿対策を徹底することができたことにより、

昨年度後半期に感染症患者が全く見られなかった。

2. サービス管理責任者を中心に個別支援計画書を作成し、より実態に応じた支援に心がけてきた。余暇支援ではグループ外出のほか  
前期・後期に分け、家族への説明、希望の聞き取りを行うことで実施内容を検討し、より良い内容提供に努めていきたい。
3. については研修機会を適時取り入れてきた。職員の資質向上の為に職員全体の意識向上を図る為に職員会議で報告する事を1月より義務付けてきた。  
今後事例検討をケース会議に盛り込みサービスの質を高めていくとともに、個別支援計画の見直し、充実に努めていきたい。

### (3) 職員構成

職 種	常勤換算	常勤	非常勤	指定基準
施 設 長	1	1		1
サービス管理者	1	1		1
看 護 師	1	1		1
生活支援員	25.6	23	3	21
栄 養 士	0	0	0	0
調 理 員	3	3		3
嘱 託 医			1	1

### (3) 短期入所事業利用状況

関係機関	男性	女性	短期入所日数	日中一時日数	障害程度区分
渋川市		1	86	130	5
足立区	1		15		児童
沼田市	1		28		4
前橋市	1		31		2
高崎市		1	69	2	6
渋川市	1			2	2
高崎市	1		2	29	6
安中市	1			33	5
合計			231	186	

#### 4. 第一若草寮（グループホーム・ケアホーム）

##### 【平成25年度 事業報告】

・年齢ともに利用者の方は、健康管理が問題となってきた。昼間は各事業所にそれぞれ通っている。

特に年齢が70才を越える利用者については、管理者、サービス管理責任者より次のステップである介護保険のサービスを考え検討したが、具体的な動きがなかった。

- ・地域の社会資源を活用し、24名全員がそれぞれに合った日中活動の場を見つけ、毎日通っているが、利用者の状況によっては、現在利用している事業所の変更もサービス管理責任者を中心に検討が必要である。
- ・地域活動については、積極的に参加をしている。特に地域のお祭りや清掃活動には利用者が進んで取り組んでいる為、地域からの信頼も出てきている。
- ・あかねホーム（2棟）の屋根の改修工事は今年度行えなかったため、再度優先して行う。
- ・大雪の影響で第二ホーム F 棟のテラスが破損したため、大家さんに連絡をして修理を依頼した。

利用者状況（平成26年3月31日現在）

利用者の判定表（障害程度区分）第一若草寮【グループホーム・ケアホーム一体型】

障害程度区分	第一ホーム（女性）	計
区分3	1	1
区分2	3	3
区分1	1	1
非該当	1	1
計	6	6

障害程度区分	第二ホーム（男性）	計
区分3	2	2
区分2	1	1
区分1	1	1
非該当	2	2
計	6	6

障害程度区分	あかねホーム（女性）	計
区分 4	3	3
区分 3	2	2
区分 2	1	1
計	6	6

障害程度区分	ゆうすげホーム（男性）	計
区分 3	4	4
区分 2	2	2
計	6	6

（職員状況）

職種別人数 第一若草寮

職種	管理者	サービス管理責任者	世話人（支援員）	合計
定員	1	1	5	7
現員	1	1	5. 1	7. 1

## 5 相談支援事業所よりどころ事業報告

### （1） サービス等利用計画作成にあたっての基本方針

- ・ 原則として、社会福祉法人三愛荘が実施する他の事業（施設入所支援、生活介護、グループホーム、短期入所等）の利用者で、当事業所との契約を希望する方を主対象とする。
- ・ 契約及びサービス提供の開始時期は、市町村から各利用者へ「サービス等利用計画案提出依頼書」が交付された時とする。（サービス利用の新規申し込み時、利用するサービスの支給期間又は障害程度区分の認定有効期間の終了時に合わせて交付される。）
- ・ 相談支援専門員 3 名は、それぞれが生活支援員を兼任している施設以外の利用者を担当する。
- ・ 各相談支援専門員が本人への聴き取り（希望や現状の把握）を実施する際は、担当利用者が所属する寮など、実際の生活の場、活動の場を訪問する。
- ・ 家族への聴き取りについては、事業所での面談又は電話での聴取を基本とする。

以上の基本方針に従って地域交流ホーム 1 階にあるよりどころの部屋でご本人と家族への説明を行ってきた。残りの 131 名分のサービス等利用計画と 25 年度達成者分のモニタリングを無事作成終わるよう努力していきたい。

(2) 平成 25 年度サービス等利用計画作成実績

6月	7名（清泉園3名、かおる園2名、さくら園1名、第1若草寮1名） 担当市町村 沼田市、みなかみ町、富岡市
7月	3名（さくら園1名、第1若草寮2名） 担当市町村 みなかみ町、渋川市
8月	7名（さくら園5名、清泉園1名、第1若草寮1名） 担当市町村 渋川市、沼田市、中之条町、富岡市、
9月	3名（清泉園1名、さくら園1名、第1若草寮1名） 担当市町村 安中市、前橋市、渋川市、富岡市
10月	7名（清泉園2名、かおる園5名） 担当市町村 安中市、高山村、富岡市、渋川市
11月	6名（清泉園2名、かおる園2名、第1若草寮2名） 担当市町村 安中市、藤岡市、嬭恋村、渋川市、吉岡町
12月	8名（清泉園4名、かおる園3名、さくら園1名） 担当市町村 前橋市、伊勢崎市、安中市
1月	8名（清泉園1名、かおる園4名、さくら園2名、第1若草寮1名） 担当市町村 前橋市、渋川市、高崎市倉淵支所
2月	5名（清泉園1名、かおる園1名、第1若草寮1名） 担当市町村 榛東村、玉村町、高崎市箕郷支所
3月	6名（清泉園2名、第1若草寮3名、在宅1名） 担当市町村 高崎市、富岡市、沼田市、昭和村、吉岡町、高山村

合計60人をサービス等利用計画提出（サービス等利用計画案の段階までの方は9名）  
モニタリング実績 27件

職員研修

(1) OJT

よりどころでは、各相談支援専門員が抱える困難事例モデルケースとして挙げ、職員間で意見交換をするなかで、よりよいサービスに結びつくよう努力してきた。

(2) OFF-JT

渋川広域障害保健福祉事業者協議会（なんでも相談室）主催の勉強会や意見交換会と群馬県主催の現任者研修への参加により情報収集に努め、群馬県知的障害者福祉協会主催の研修にも参加してきた。

## 6. 医療事業報告

### 利用者

年間

5月13～15日 血液検査・検尿

4・7・10・1月 榛名病院定期診察（必要時、脳波・心電図検査）

6月26日 歯科検診

9月24日 胸部レントゲン検査

11月14日 インフルエンザ予防接種

11月11～13日 血液検査・検尿

毎月

第1木曜 医療会議

第2金曜日 山川 治 医師 摂食・嚥下委員会

第3木曜 嘱託医 塚越秀男 医師診察（午後）

第4木曜 産業医 塚越 香 医師診察（皮膚科診療）（午後）

体重・血圧測定

毎週

月曜 前橋歯科センター通院

### 職員

5月13～15日 血液検査・検尿・身長・体重・血圧測定

9月24日 胸部レントゲン検査

11月14日 インフルエンザ予防接種

11月11～13日 血液検査・検尿・身長・体重・血圧測定

## 7. 消防訓練状況

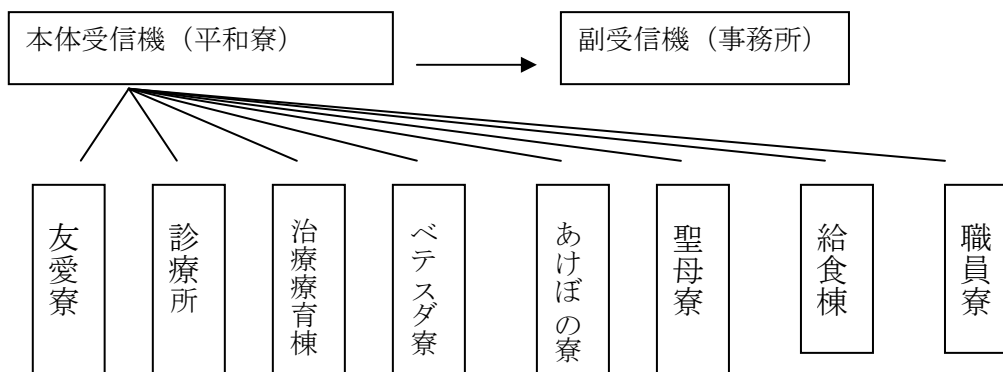
年月日	事項	内容
25.4.1	職員会議	平成25年度の緊急ネットワーク表の確認、避難訓練など各種訓練の方法を検討する。
25.4.9	渋川市・消防署立入検査	グループホーム・ケアホーム立入調査
25.4.15	通報訓練	施設内緊急ネットワークを使っでの通報訓練
25.4.19	避難訓練 通報訓練 消火訓練	手芸班出火想定 自火報装置にて通報 消火栓使用講習
25.5.10	避難訓練 消火訓練	地震、火災想定。いずみ寮出火想定 消火栓にて消火訓練
25.6.3	明保野防災委員会	4施設合同防災訓練について 親睦ソフトボール大会について
25.6.3 ~5	防災器具点検	双葉防災による点検
25.6.12	夜間検証 避難訓練 消火訓練	友愛寮 室出火想定 水消火器、消火栓にて消火訓練
25.6.23	避難訓練	グループホーム第一若草寮第一ホームC棟 台所出火想定
25.6.25	応急手当普及講習会	39名参加
25.7.16	避難訓練	信和寮4号室出火想定
25.7.26	応急手当普及講習会	24名参加
25.8.5	夜間検証	聖母女子寮6号室出火想定
25.8.20	応急手当普及講習会	31名参加
25.9.30	避難訓練 消火訓練 防災食	友愛寮すいせん被害想定 防災食試食
25.10.4	明保野防災委員会	4施設合同防災訓練について 親睦ソフトボール大会について
25.10.8	明保野防災委員会 通報訓練	4施設合同防災訓練 担当 三愛荘 4施設防災委員連絡網にて

25.10.15	夜間検証	夜間実施 あけぼの寮谷川105号室出火想定
25.10.27	明保野防災委員会	親善ソフトボール大会（担当 自警団）
25.11.24	避難訓練	夜間実施 グループホーム第一若草寮第二ホームF棟 台所出火想定
25.11.28	消防署立入検査	建物確認 消防関連施設視察
25.11.29 12.2.3	防災器具点検	双葉防災による点検
25.12.12	避難訓練	平和寮出火想定
25.12.12	明保野防災委員会	反省会、懇親会
26.1.15	避難訓練	聖母男子寮出火想定
26.1.28	消防署立入検査	11/28立入調査結果確認
26.3.14	避難訓練	三養寮出火想定 自火報装置にて通報



## 8. 警報設備

### (1) 本体受信機（平和寮）



### (2) 消防設備

動力小型ポンプ	1台
消火栓	4基
消火器	71本（粉末）
非常用放送設備	1基
火災自動通報装置	1基
簡易スプリンクラー設備装置	6ヶ所
事務所湯沸室	
診療所湯沸室	
ベテスタ寮配膳室	
あげぼの寮配膳室	
聖母寮配膳室	
職員室配膳室	